学校番号	２０１

平成 31 年度　公民科

教科	公民科	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校　政治・経済　新訂版」（実教出版）						
副教材等	「最新政治・経済資料集 新版」（第１学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

広い視野に立って，民主主義の本質に関する理解を深めさせ，現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解させるとともに，それらに関する諸課題について主体的に考察させ，公正な判断力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2　学習の到達目標

1、政治･経済･国際関係などに関する諸課題について主体的に考察する。
2、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し，社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し,その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 主題学習・発表 相互評価	ワークシート 定期考査 主題学習・発表	ワークシート 定期考査 主題学習・発表 自己評価 相互評価	ワークシート 定期考査 小テスト 主題学習・発表 自己評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	第１編 現代の政治 第１章 民主政治の基本原理と日本国憲法 ①政治と法の機能 ②人権保障と法の支配 ③議会制民主主義と世界の政治体制	・民主政治の本質を把握しながら，政治と私たちとの関わりについて理解する。 ・法に関する基本的な見方や考え方を把握しながら，法の意義について理解する。 ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら，人権保障の国際的な広がりについて考察する。 ・民主主義の発展について理解するとともに，各国の政治体制について諸資料を元に学習する。	○	○	○	○	a ・民主政治の本質や，政治と私たちとの関わりについて意欲的に追求し、理解している。 b ・法に関する基本的な見方や考え方を把握しながら，法の意義について意欲的に追求し、理解している。 c ・基本的人権が確立するまでの歩みを理解しながら，人権保障の国際的な広がりについて意欲的に追求し、理解している。 d ・民主主義の発展について理解するとともに，各国の政治体制について意欲的に学習し、理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	④日本国憲法の基本原理 ⑤平和主義と自衛隊 ⑥基本的人権保障と新しい人権	・大日本帝国憲法と日本国憲法の違いを考察し，それぞれの憲法の本質について理解・個人の尊厳，自由，平等などの社会的価値について把握しながら，権利相互の関係や人権をめぐる諸課題について理解する。 ・自由権や社会権，参政権などの基本的人権や新しい人権について理解を深め，その本質を把握する。 ・人権に関する判例を活用しながら，権利と義務との関係や，「公共の福祉」の概念について理解する。する。	○		○	○	a ・個人の尊厳，自由，平等などの社会的価値について把握しながら，人権をめぐる諸課題について意欲的に追求し、理解している。 d ・基本的人権や新しい人権について理解している。 c ・人権に関する判例を活用しながら，権利と義務との関係や，「公共の福祉」の概念について意欲的に追求し、理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

1	⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 ⑨裁判所の機能と司法制度 ⑩地方自治制度と住民の権利	・国会，内閣，裁判所などの政治機構にふれながら，主権者としての政治に対する関心を高めるとともに，それぞれの役割について理解する。	○				a ・政治機構を意欲的に学習し、それぞれの役割について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
		・二院制の意義や法律の制定過程，衆議院の優越など，国会に関する基本的事項について把握しながら，国会の課題についても関心を高める。	○				a ・国会に関する基本的事項について理解し、意欲的に学習した。	
		・裁判員制度について理解し，報道資料などから国民の司法参加の意義を考察するとともに，刑罰の意義や犯罪被害者の救済，犯罪者の更生について関心を高める			○		c ・裁判員制度について理解し，報道資料などから国民の司法参加の意義を考察する。刑罰の意義や犯罪被害者の救済，犯罪者の更生について関心をもって学習し、理解した。	
		・地方財政の現状と地方自治の課題について関心を深め，報道資料などから自分の住んでいる地域の実態を知る		○			b ・地方財政の現状と地方自治の課題にいて関心を深め，意欲的に学習し、理解した。	
	⑪政党政治と選挙制度 ⑫民主政治における世論の役割	・日本の選挙制度について把握しながら，政党や圧力団体の行動とその意義を理解する。	○	○		○	d ・日本の選挙制度について把握しながら，政党や圧力団体の行動とその意義を意欲的に追求し、理解した。	
		・マス・メディアの役割と問題点を理解し，世論の果たす役割が大きいことについて理解する。	○	○	○	○	b ・マス・メディアの役割と問題点を理解し，世論の果たす役割が大きいことについて理解した。	

2	第２編　現代の経済 第１章 現代経済のしくみと特質 ①経済社会の発展 ②経済主体と経済活動 ③市場経済の機能と限界 ④経済成長と景気変動	・資本主義経済の特徴を，社会主義経済の特徴と比較しながら，現代経済の特質について理解する。 ・家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいながら国民経済を構成しているのか理解する。 ・市場の基本である「需要と供給との関係」について，正しく理解する。 ・独占，寡占状態の市場での消費者に対する影響と，その弊害を排除するための措置について理解する。	○ ○	○		○ ○	b・資本主義経済の特徴を，社会主義経済の特徴と比較しながら，現代経済の特質について理解した。 a・家計・企業・政府の関わりあいについて意欲的に追求し、理解する。 d・市場の基本である「需要と供給との関係」について，正しく理解した。 d・独占，寡占状態の現代の市場を意欲的に学習し、理解した。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	⑤物価の動き ⑥金融のしくみとはたらき ⑦財政のしくみとはたらき ⑧日本経済の歩み	・金融のしくみや役割，日本銀行の金融政策，金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解する ・財政の基本的なしくみや役割，租税の意義について理解しながら，その使途について関心を高める。 ・日本の財政の現状について，報道資料などから調査し，公債残高の膨張が将来に及ぼす影響を考察する。	○ ○	○			b・金融のしくみや役割，日本銀行の金融政策，金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解した。 a・財政の基本的なしくみや役割，租税の意義について理解しながら，その使途について関心をもって学習し、理解した。 b・日本の財政の現状について，報道資料などから調査し，公債残高の膨張が将来に及ぼす影響を考察した。	
	⑨農業の現状と課題	・日本の農業が直面している課題について理解する。	○				a・日本の農業が直面している課題について意欲的に追求し、理解した。	

3	第２章国民経済と国際経済 ①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割 ③地域的経済統合 ④グローバル化する経済	・国際収支の基本的な構成を把握しながら，経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解する。 ・為替相場のメカニズムについて把握しながら，円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解する。 ・地域的経済統合やＦＴＡ・ＥＰＡについて関心をもち，諸資料を利用しながら具体的に考察する。 ・グローバリゼーションにともなうヒト，モノ，カネの国際的な移動が，国際経済に与える影響について，関心を高める。	○	○	○	○	b・国際収支の基本的な構成を把握しながら，経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解した。 a・為替相場のメカニズムについて把握しながら，円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解した。 c・地域的経済統合やＦＴＡ・ＥＰＡについて関心をもち，諸資料を利用しながら具体的に考察し、理解した。 d・グローバリゼーションにともなうヒト，モノ，カネの国際的な移動が，国際経済に与える影響について，意欲的に学習し、理解した。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。